



01



02



03



04



05



06

01/ファミリーキャンプを楽しむ人々のカラフルなテントが並ぶ林のなか、走りやすい舗装路が続く。02/車が侵入できないエリアに入り込むと、美しい湖の景色が待っている。03/ラムサール条約に登録された仏沼の湿地帯近くの道は、穏やかな直線路で、牧歌的な風景も楽しめる。04/小川原湖は、夏期のみ一部で遊泳できる。高瀬川と太平洋につながる汽水湖で、水産資源も豊富な“宝の沼”。05/湖畔沿いの道を改良した自転車専用道。今は一部だが、将来は一周道路になることを願う。06/道の駅みさわは、整えられた芝生や、充実した施設があり、地元のドライバーにも人気の憩いの場。

コース7 おがわら湖

走行距離:約56km 所要時間:約4時間

Lakeside Camp Ride

アメリカ文化を垣間見る、小川原湖一周

7

- A** 小川原湖畔キャンプ場
 三沢市大字三沢字淋代平116-2949
 TEL:0176-59-2830
 kite-misawa.com/camp
- B** 道の駅みさわ 斗南藩記念観光村
 三沢市谷地頭4-298-652
 TEL:0176-59-3009
 kite-misawa.com/tonamihan



青森県の東部、太平洋側に位置する小川原湖は、一周すると約60kmほどの巨大な汽水湖。風が強い日は波も立つので、まるで海のように。キラキラとした湖上には魚を捕獲するためのマテ小屋がぶかりと浮かび、のんびりとした雰囲気だ。小川原湖畔にはキャンプ場もあって、テントの目の前で泳ぐ子どもたちの姿が微笑ましい。

旅のエクスカージョンとして、湖の南部から自転車で20分ほどの三沢市内にも寄ってみたい。三沢基地によって生まれたアメリカ文化が根つき「ここは本当に青森なのだろうか?」と疑うほど、洋風のパブ

やバーなどが立ち並ぶ。基地前の広い芝生や、英語の道路標識にも戸惑うかもしれない。三沢基地に近い湖畔エリアでは、マリッジットで遊ぶ姿も見かけた。

湖畔沿いは自転車専用道とまではいかないが、交通量の少ない道が続くので安心だ。湖の東部には一見、草原のように見える仏沼が広がっていて、ここは水鳥の生息地として国際的にも重要な低層湿地帯として「ラムサール条約」に登録された。黄緑色に光るのどかな直線路は、ベダリングのリズムも軽やかにになるだろう。